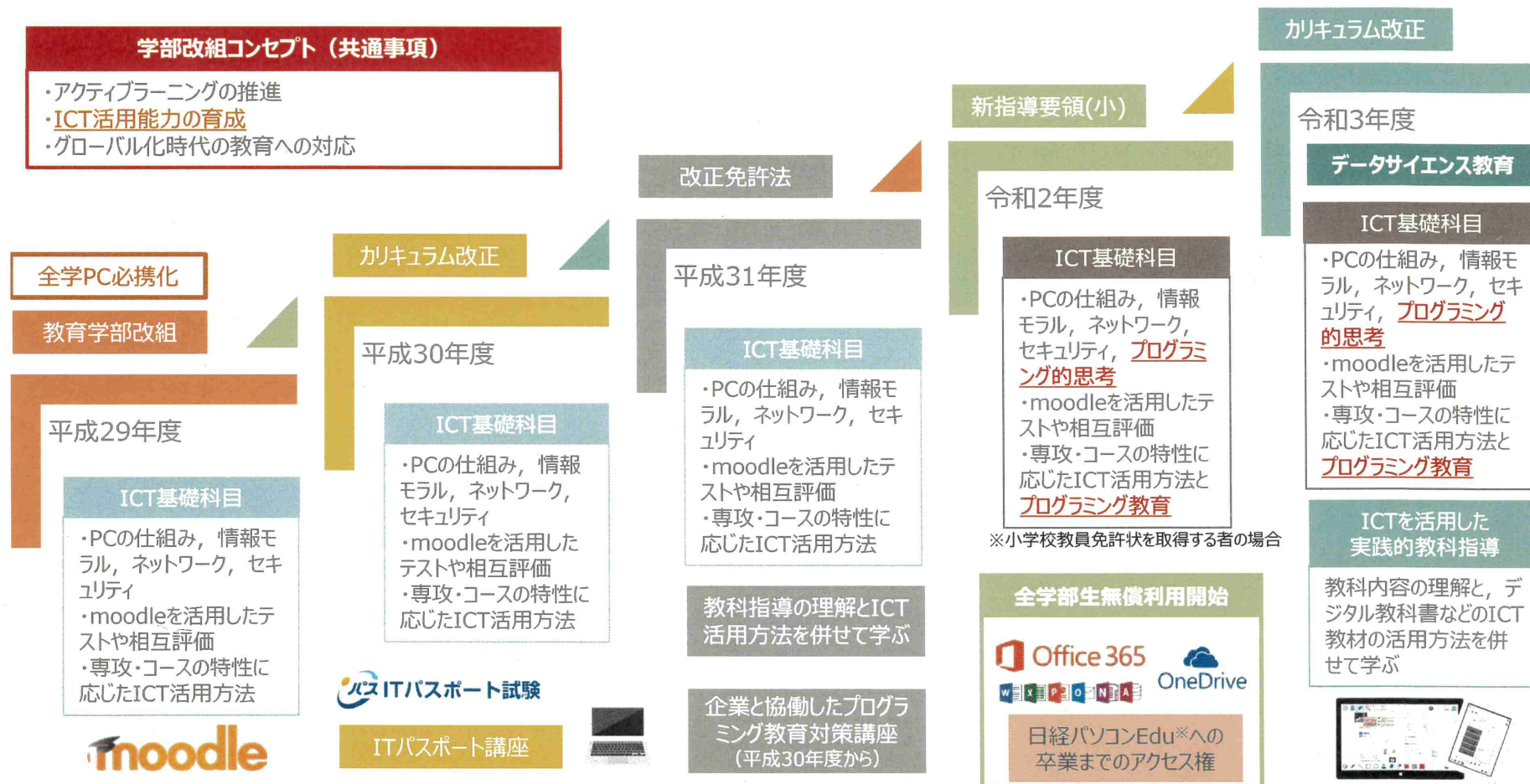


大阪教育大学におけるICT活用能力の育成について（概要）

取組 概要

平成29年度の学部改組時に設定した「卒業認定・学位授与の方針」には、卒業時に共通して必要とする資質・能力として、「ICTスキル」を掲げた。この能力を育成することを目的として平成29年度以降、ノートパソコンの全学部学生必携化、学習管理システム、電子ポートフォリオの利用を基盤とし、ICTの基礎を学ぶ全学必修科目、パソコンを使用した統計、メディア・リテラシーなど情報活用を視野に入れた授業科目も開設してきた。令和2年度以降は、学習指導要領の改訂に伴うプログラミング教育の導入にも新たに対応している。このような取り組みを通じて、ICT活用能力の育成を行うとともに、ITパスポート資格の取得を奨励し、質保証としての取組みも進めている。



学習管理システム「moodle」、ノートパソコンの全学部学生必携化、電子ポートフォリオ、キャンパス内無線LAN環境、ICT教育支援ルーム

※日経パソコンEduとは、雑誌「日経パソコン」が提供するクラウド型の教育コンテンツ提供サービスです。

国立大学法人 大阪教育大学

質の高い学びを提供するインターネットを活用した授業

感染防止期間の学び

オンデマンド型

- 動画提示
- 資料提示
- 小テスト
- 課題回収
- チャット・掲示板

同時双方向型

- ライブ配信
- 資料提示
- チャット・掲示板

【感染注意期間-社会活動との共存】

ハイブリッド型

- 面接授業との併用
- 在宅学習と講義室での面接授業を隔週で交代

感染状況に応じて
学び方を臨機応変に変更

オンデマンド型 学習管理(LMS) Moodle



同時双方向型 WEB会議システム



ストリーミング 講義収録・配信管理 mediasite



平常時の学び

面接授業 (BYOD)

- 資料提示
- 小テスト
- 課題回収
- チャット・掲示板

オンデマンド型 (反転学習)

- 予習・復習
- 課題提示
- チャット・掲示板

同時双方向型 (ライブ配信)

- 社会人教育(大学院)
- 教員免許状更新講習
- 公開講座等

ハイブリッド型

- 面接授業との併用
- 在宅学習と講義室での面接授業を隔週で交代

補講・集中

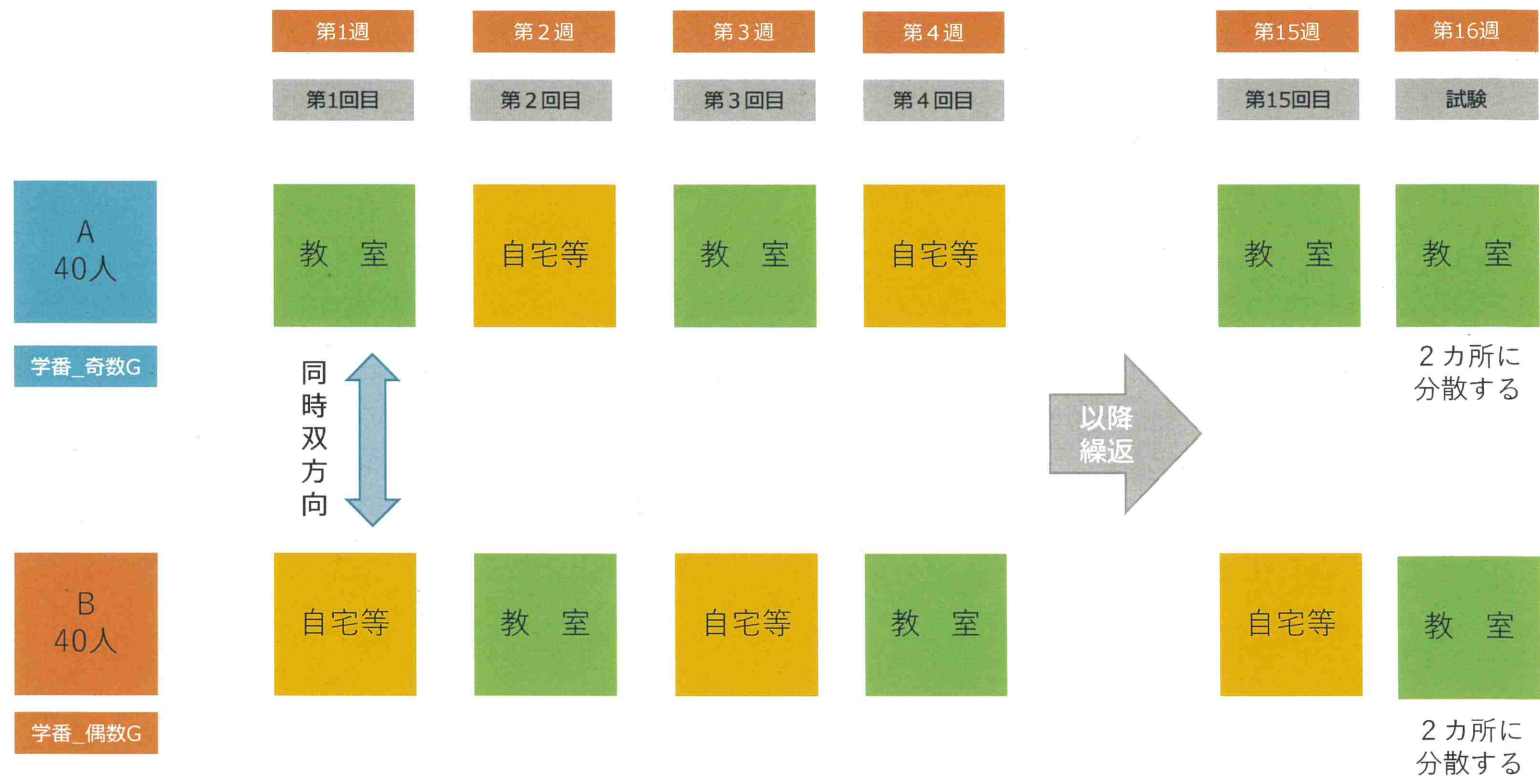
- 台風等の災害への対応
- 遠隔地からの講師招聘



【HYBRID】対面授業と遠隔授業（同時双方向型）の併用による授業実施方法（例）

想定条件

受講人数：80人、講義室定員：100人、主な授業の方法：講義、成績評価方法：定期試験



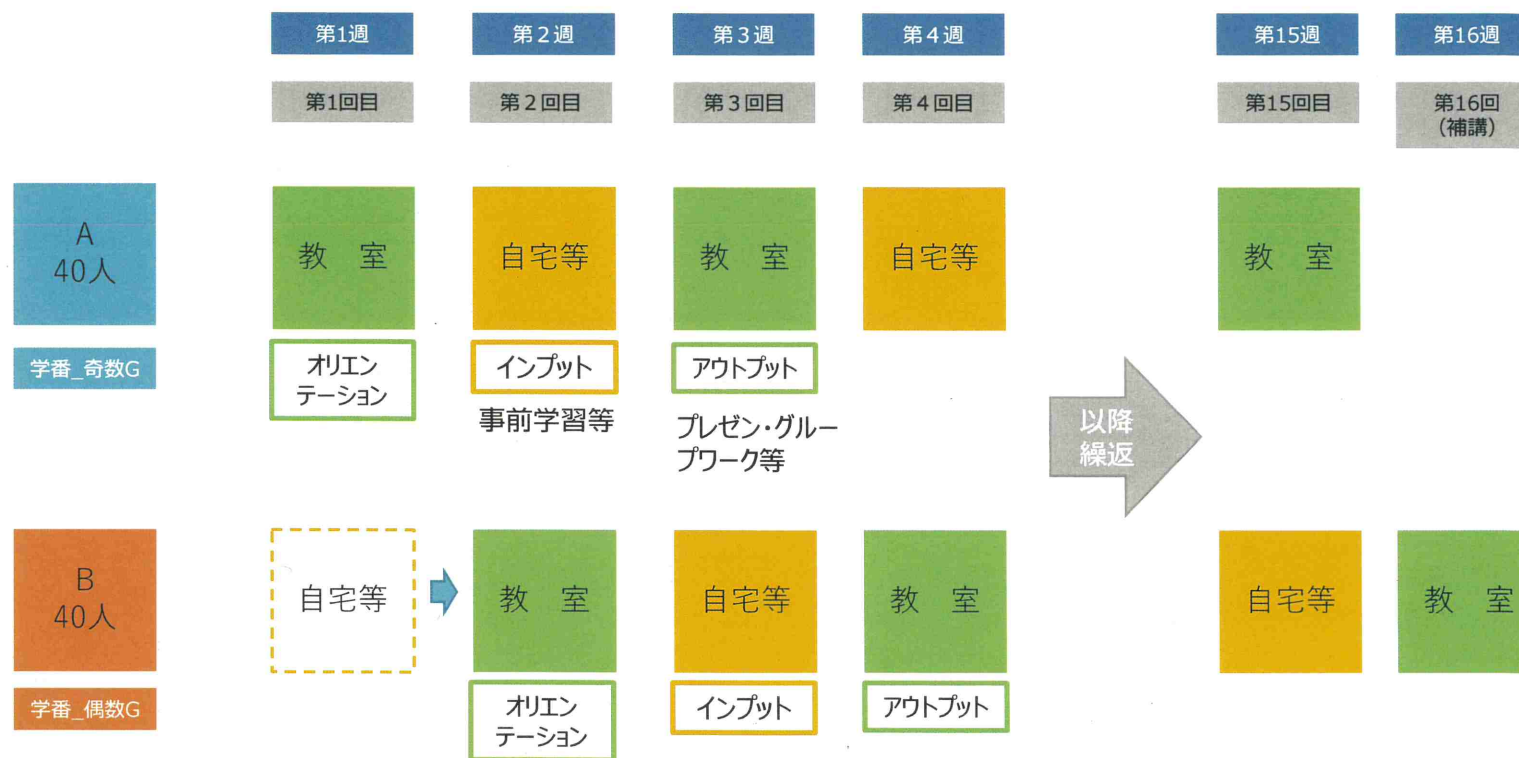
実施方法

- ・全受講生をA,Bの2つのグループに分ける。
- ・Aグループは、教室で授業を受講し、Bグループは、教室で展開されている授業をZoom等のテレビ会議システムを通じて自宅等で履修する。各グループは、教室と自宅等を隔週で交代する。
- ・対面による期末試験を実施する場合は、実施する教室を2カ所以上に分散する等で対人距離を確保した上で、試験補講期間に実施する。

【HYBRID】対面授業と遠隔授業（オンデマンド型）の併用による授業実施方法（例）

想定条件

受講人数：80人、講義室定員：100人、主な授業の方法：講義、成績評価方法：レポート・小テスト



実施方法

・授業は、次の①及び②により構成する。

①対面授業時の指示又はMoodle等（学修支援システム）の活用による事前学習等

②教室における教材の内容を踏まえたディスカッションや質疑応答、プレゼンやグループワーク等を通じた主体的・対話的な深い学習

・事前学習は、従来型対面授業の内容（知識・技能に関する説明、理解度を確認するための小テスト・レポート作成など）に相当する。

・第16週を授業日とすることから定期試験を実施することができない。